

夏休み科学実験教室

形が"変わると働きも変わる

～小学生でもわかる構造力学入門～

明石海峡大橋はどうやってあんなに長い橋を支えているのかな？
同じ材料でもほんのちょっとかたちが変わると格段に性能があがったり、働きもかわったりします。
簡単な実験で、技術のおもしろさ、素晴らしさを体験してみよう！

- 対象：小学生以上（低学年は付添が必要です）
- 持ち物：筆記用具（はさみ・えんぴつ・ノート・セロテープ・定規 15cm～30cmのもの）



第1部：TRC北部リージョンセンター図書室（10：00～11：30）

場所：北部リージョンセンター 集会室3

定員：25名

☎（0725）90-7512

第2部：TRCシティプラザ図書館（13：00～14：30）

場所：多目的室（シティプラザ地下1階）

定員：30名

☎（0725）57-6670



2017年7月30日（日）

受付開始：7月10日（月）AM10：00～

各図書館の窓口・お電話にてお申込ください。（先着順）



講師紹介

せきぐち よしひろ
関口 芳弘さん

国立研究開発法人理化学研究所

理化学研究所で最先端の研究・実験施設の建設に携わってきました。

スパコン「京」のプロジェクトには最初から参加し、施設の計画・設計・建設を担当し、「京」の世界一達成から安定運用に貢献しました。

世界最強のX線レーザー施設「SACLA」の建設にも参加し、最先端研究施設のインフラを支えてきました。

20代の頃は小学校教師をしておられ、今でも心は理科教師。

最先端の科学技術を子どもたちに楽しく伝えるため、出張授業や科学教室、サイエンスカフェ等を通して、子どもたちに科学技術の面白さ、楽しさを伝えています。また、子ども向け、教師向けの理科の本も執筆しています。